青年と社會思想

橋田東聲

京大事件で問題となつた學生を見るにその多くは頭がよくて且つ非常な勉強家である。かかる人々が誤つた思想の爲に、日本の國家生活と相容れざる境遇に置くことは人物經濟からいつても大なる損失である。もしこの人々が立場をかへて日本の文化の進展に貢獻するやうな方面にむかつてくれたならばと實に殘念に堪へない。

◇

世間ではスポートをやる人には、マルクス主義などの異端思想を奉ずるものはないといふものがある。それは事實さうであらうけれどもしかしスポートに熱中するから社會主義等に感染しないといふ考へ方よりも寧ろスポートマンと社會主義とでは土臺性格が異つてゐるといふ考へ方が本當であるかも知れない。即ちその道が根本的に違つてゐるのではあるまいか。思想を研究するやうな學生達ちは概ね好學心が強く人間生活の內面に目を向け、自己探究の努力を惜まない人達である。實はかういふ人々の間から思想家も藝術家も宗教家も出るのであつて、スポートマンなどの行くべき道とは自らその選を異にしてゐる。

◇

スポートの流行はそれが健全であるならば固より結構であるが、精神文化に參與する點からいへば、遙かに社會思想研究者達て異而目であると思ふ。この點から考へても京大事件の如きは洵に遺憾に堪へない次第である。ただし、かの淺薄なる騷々しい似面非なる社會主義者に至つては無論々外である

◇

新東方協會が最近生れ出で、學生や月から「日本時代」及び「日本の道」の二冊の心持ちからいへば吾々體の者に、何か言譯を附けの顏を斜めに睨み返した

影は夢みる

京　不二之介

カルメラの夢
ふくれる　ふくれる
トト……
チエツ！
べしやんこになつちやつた
風が自殺をして
他ばめる情熱が
ボンヤリと欠伸する
午後三時——
うつろなる心の
靜かな翔たきが
雜草の影に生み
トカゲのやうに消え失せた
カルメラの夢……

海岸小景

八月の太陽からの
すばらしい花粉を浴びて
いま
あつぼつたい女の群れが
健康な踊りをはじめた
血みどろの狂想が
水平線に上昇する——
俺は
もえる砂上に
長身を投げ出し
呼吸をとめて
貧しい饗宴をはうふ

勿論、吾々は雖も必ずしも西洋のものを全然排斥するものではないその內が國にとつて取容れるべきはよろしくこれをとり、或はわが國の短を補ふべきは勿論である。しかし何よりも先づ吾々の主力を日本及び日本人の上に注かなければならないこれが私の新東方協會の一員となつた所以である。そしてかくの如き生き方、若くは考へ方が今日及び今後の日本人の生き方であり、考へ方でなければならぬと思ふのである。

講談

幕末秘帖　狂怒乱心

（29）　渡邊　默禪作
宮野　畝春畫

そのさいのやうな鋭い眼で勇はきつと梅を睨みつけた

「こりや下郎」

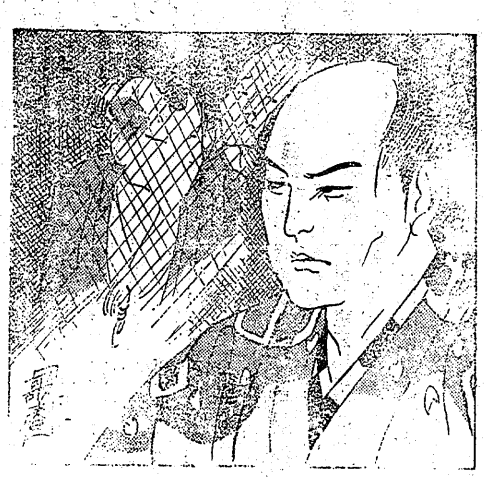
張のある凛とした聲、耳が貫いて頭にひりひりと徹へ！油斷に乘じて斬りつけたに相違ないッ、これや其方は一體此の新徽組を何と心得る、いや何等の遺恨あつて左樣な危害を加へた？さ「くんだ肱を解いて、鐵扇開かう、それを申せッ」

聲は一段の峻厲、左の手を膝に立てた

「其方は昨日雜司ケ谷の鬼子母神前、初音と申す茶屋しりと縁に居合せて恰と其節隣席に酒を飲み居つた二人の浪士の顏を斜めに睨み返した

「遺恨が無えのに何故斬つたと言ふのなら、その所以因緣を話して遣らう、さ前が新徽組だか、新徽組がた前だかそんなことた ア知らねねが、聞きやア何でも將軍さまが京洛へお上りになるに就てその御番を勤める爲に此頃出來揚つた人足だてねことだ、そういふ大切の御用を勤める役目なら旗本衆や御譜代の總鑑にもなるやうに些と品行に氣を注けて、立派にやつて呉れなくちやア困るぢやねねかそれに、何でえ罪も無ね町人衆をいぢめやがつて、仕てね放題の暴れ方、どのくれね世間を泣かしてるか解りやアしねねせ、おい、そて、刀の手前を考へたらそんな事で公儀から御扶持ゃんな氣恥かしい文句は口か叩いてる士だと威張られら外へは出されやしめえせ義理か此の江戸ぢやア、た理を非にまげてもな、オイ前だちのことを新徽組だと言ひやしねね、何處へ行つても狂犬だ！ とけなしてゐるぜ」

痛快骨をにじるとは是れ言々炎を帶びて鐵丸の如くに眞向から飛んで來る勇はぎらり！ と眼を輝かして聞いてゐたがこめかみの邊に時々びり！ と肉がうごめくのが見ねた。



廣告

痔の最高內服藥　ダイサン錠
鼻のクスリ　チクノール錠
平町五丁目角　山野邊藥局

平町南町
大和田醫院
電話一七〇番

平町白銀町
日東商會
電話四二八番

日東のラジオ
最新高級の
ラジオ製造販賣
並に部分品提供
當分の間　奉仕的破格値段
三球セット取付共
A　百貳拾五圓
B　百　圓
C　七拾　圓
御用命次第店員をお伺ひ致させ懇切御相談に應じます。
平町白銀町
日東商會
電話四二八番

開店御披露
氣分好い食堂ができました、暑い夏の夜御散策旁々是非一度御來店の上御批評を經營は大塚肉店故原料豊富、是非一度御試食の程を
女給數名入用
カフエー　幸樂
平町六丁目　電五三九番

醫院開始
◆內臟外科
◆外科一般
◆花柳病科
平町田町大通り
安齋外科醫院
電話四三六番

各社競映榮冠輝く代表的名篇
谷怪映
監督　伊藤大輔　主演　伏見直江　松本泰輔　澤村春子
通俗教育大映畫
原作監督　伊奈精一作品
主演中村英雄、伏見信子
出世二人小僧
鈴木光子
人生への首途のために自然科學偏重を離れて先づ人間萬才を唱へよう……
日活秘藏特作映畫
原作監督　德永フランク
砂田駒子　津島るり子　東　勇路
心なき都　全卷
心なき都……に渦巻く悲戀哀情極りなき愛慾の社會相……
九月一日ヨリ上映
今週六日間
平館

開業披露
各位の御奬めにより
洋食部開業
▽コツクは東京から一流の
▽原料は特に精選吟味
やぶそばと同樣多少に不拘す御用命を乞ふ
食堂完備——配達迅速
二十二日開業
平町新田町
やぶ洋食部
電話一四一番

外科新設
外科專門　部長　藤本順
診療開始
產婦人科　院長　木村寅次郎
從前通り診療
平町新川町
木村醫院
電話一六四番

醸造元
清世界
清水屋
石城小名濱町
小野晋平
銘酒
各炭鑛御用達
電話六番

醸造元
東京支店
福島縣平町
山崎合名會社
電話（醸造工場一二〇番　營業部一二七番）
振替東京一九七五五番
上野車坂町四三
電話（下谷五七一二番）
振替東京六八三一二番

磐城病院改稱
市原病院
平町田町（電話一一四番）
內科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
外科、梅毒、淋毒　市原三三男

外科
婦人科
內科
X光線科
赤心堂病院
平町田町（電四七五）
外科一般
耳鼻科
花柳科
產婦人科

休刊　大祭第一、第三日曜
定價（壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵稅十錢）
廣告料（二行壹錢指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
福島縣平町田町拾六
發行所　磐城新聞社

自動車營業者に嘗められ
面目を失墜した平警察署
折角の威令更らに行はれず
盆二日取締の不徹底

平警察署では舊暦盂蘭盆すら五、十六兩日平町市内の雜踏を豫想し交通事故の萬一を愛慮し兩日間は午後六時以後市内自動車運轉を嚴禁し各路線は長橋、月見町、鎌田橋等を起點に折り返し運轉する樣各自動車營業者に示達し此の旨發表したので一般町民は平署の此の機宜の處置に對し大いに賛讃の辭を放つてゐた處十五日折から雨模樣な宵しかも群衆が漸く加はり人出の最盛り頃に向つて既に市内運轉を禁じた筈の乘合自動車は遠慮もなく市内へ現はれ出し人垣を破つて疾走し切角の人だかりが壞はされるやら車輪の泥をはね飛ばしてあたら若い娘子等を泣かしむる等はさてたき別項の如く自動車の爲め負傷者を出す等危機極まりなく自動車は恰も天下御免の横暴振りを遺憾なく發揮し乘合の客を漁る樣は實に一般群衆の肩をひそめしめたが自動車は四五名の販賣員を隅田川出張所に殘し約二十名の社員は前記磐炭爭務所へ移すことになつた、これで

同炭坑は

年産額百萬噸に對し一噸當り十錢の節約がされて一年三萬圓の經費が浮かび上る譯である而して一方平稅務署一ケ年の徴稅額は百六十餘萬圓に及ぶ期待されてゐる

常磐王國

を誇つたのも昔の夢一般財界の不況と炭礦の經濟御難の概況を說明するに足るべくまた炭礦當局に取つても事業不振滯納の聲絶えない昨今納稅上相當の理解を持たしめるものと一般に

常磐王國

を誇つたのうと決意前記の兇器を持つて家を飛出し折から加賀美宅に押寄せる途中の義雄を

同炭坑は

年産額百萬噸に對し一噸當り十錢の節約がされて一年三萬圓の經費が浮かび上る譯である而して一方平稅務署一ケ年の徴稅額は百六十餘萬圓に及んだこの常盤炭礦諸會社よりは一層押かけて殺して仕舞ふ樣各自動車營業者に示達し此の旨發表したので一般町民は平署の此の機宜の處置に對し大いに賛讃の辭を放つてゐた處十五日折から雨模樣な宵しかも群衆が漸く加はり人出の最盛り頃に向つて既に市内運轉を禁じた筈の乘合自動車は遠慮もなく市内へ現はれ出し人垣を破つて疾走し切角の人だかりが壞はされるやら車輪の泥をはね飛ばしてあたら若い娘子等を泣かしむる等はさてたき別項の如く自動車の爲め負傷者を出す等危機極まりなく自動車は恰も天下御免の横暴振りを遺憾なく發揮し乘合の客を漁る樣は實に一般群衆の肩をひそめしめたが自動車は四五名の販賣員を隅田川出張所に殘し約二十名の社員は前記磐炭爭務所へ移すことになつた、これで

同炭坑は

年産額百萬噸に對し一噸當り十錢の節約がされて一年三萬圓の經費が浮かび上る譯である而して一方平稅務署一ケ年の徴稅額は百六十餘萬圓に及んだこの常盤炭礦諸會社よりは一層押かけて殺して仕舞ふ樣各自動車營業者に示達し此の旨發表したので一般町民は平署の此の機宜の處置に對し大いに賛讃の辭を放つてゐた處十五日折から雨模樣な宵しかも群衆が漸く加はり人出の最盛り頃に向つて既に市内運轉を禁じた筈の乘合自動車は遠慮もなく市内へ現はれ出し人垣を破つて疾走し切角の人だかりが壞はされるやら車輪の泥をはね飛ばしてあたら若い娘子等を泣かしむる等はさてたき別項の如く自動車の爲め負傷者を出す等危機極まりなく自動車は恰も

常盤王國

を誇つたのも昔の夢一般財界の不況と炭礦の經濟御難の概況を說明するに足るべくまた炭礦當局に取つても事業不振滯納の聲絶えない昨今納稅上相當の理解を持たしめるものと一般に期待されてゐる

常盤王國

を誇つたのうと決意前記の兇器を持つて家を飛出し折から加賀美宅に押寄せる途中の義雄を

磐炭の東京本社を
内郷村に移轉
一ケ年十萬圓の節約
經營難の苦肉策

常盤炭坑界は打續く炭況不振のため各炭坑會社はいづれも緊縮政策によつて難局の打開につとめてゐるが當

牝馬
健康診斷

石城産馬組合では左記日割で蕃殖牝馬の健康診斷を行ふ

△九月三日午前磐崎村午後渡邊村△四日午前上遠野深山田午後上遠野村根岸△五日午前同村上濁午後同村下濁△六日午前入遂野上根本午後下根本△七日午前同村大字上の午後大字下分△八日午前同村大午午後石住村貝泊△十日午後荷路夫村△十一日十二日田八村

實地を檢證
判檢事現場へ

別項内郷村の殺人事件に就いては其の後引續き平署司法主任長須刑事が取調中であるが幸ひにして虎口を逃れた譯で同署では親許に引取方を急報した

惡黨の若者
平署に檢擧さる

石城郡小名濱町字古港當時住所不定無職伊藤昇太郎(二三)は去る九日小名濱町山形勇方で詐欺を働き茨城縣磯濱町戸塚九三方から現金二十圓石城郡植田町字岩間阿部涉方から銀側懷中時計鎖付價額三十圓を窃取した

三巡査は
四犯人と入火

でないかとも觀られてゐる尚同所附近には東部電力會社等の建物の傾向あるので今年は特に盗伐を防ぐため來る十一月から來春四月まで三十名の臨時雇を使用し嚴重取締る由

雨もものかはと
踊り拔いた盆二日
珍らしい雜沓を見た
平町の盆景氣

平町の舊盆狀景を見るに昨今の不景氣續き殊に米價暴騰の折柄とて例年に比し大分寂寥の感あつたが一番人出が多く賑つたのは十五、十六の兩日で、平消防組は磐城銀行前に本部を設け班をくんで町内の警備に當つた十五日正午から雷雨があつたが協議題は左の如し

△平町鎌田町岡田千藏氏が亡父治作氏の遺言に依る小學校基本金へ金百圓の寄附採納の件

△追加及更正豫算協議

△平町第三區々長市原源十氏の區長辭任

△第三區々長代理推薦の件

平町會
一日の協議題

平町では明一日午前十時から町會を開催するが當日の

植田青年會
總會

植田町青年會秋季總會は卅日午前十時より植出小學校に開き會務報告會長の挨拶ありそれより平商業學校長吉田利吉氏の株式會社と社會問題と題する講演あり午後二時より九月十六日の平町における石城郡青年競技會出場選手の豫選を行つた

貧と病を苦にし
若い夫婦心中
ゆうべ内郷の鐵道で
無慘にも即死

内郷村大字高坂字臺町九十番地雜貨商關部甚松(三九)同前記の仕業に及んだものであると

内郷村大字白水字濱井場經坑五號ノ七長屋居住山形縣最上郡新庄町字小田島生れ磐城炭坑々夫加賀美力(四〇)は昨卅日午後九時二十分頃同鑛坑長屋丁の六號東角山崎久吾方裏手通路に於いて出合頭に同坑丁の三號居住坑夫永井義雄(年令不詳)を慘し持つたる及渡り五寸餘の

大出双を
揮ひ突如

内郷村大字白水字濱井場經坑五號ノ七長屋居住山形縣最上郡新庄町字小田島生れ磐城炭坑々夫加賀美力(四〇)は昨卅日午後九時二十分頃同鑛坑長屋丁の六號東角山崎久吾方裏手通路に於いて出合頭に同坑丁の三號居住坑夫永井義雄(年令不詳)を慘し持つたる及渡り五寸餘の

大工町の
火事
人混み最中
火因に不審

平町大工町中川材木店中川

泉村高齢者
九十一歳が最高

石城郡泉村では今秋の御盛典に際し村内に居住する高齢者に對して紅日の鏡餅を贈ることになつたが同村に居住する八十歳以上の高齢者は女が十三名、男十二名計二十五名で最高齢者は九十一歳である

愈々あすは
二百十日
大事はあるまい
測候所の觀測

農家の厄日とされてゐる二百十日も愈明日と迫つたが本年の氣候は全く變調に變調を重ね天氣博士連のゐる測候所でさへも見當がつかなかつたといふわけだ從つていつこも斷言出來ないといふことである

武術大會
明一日磐中で

石城郡聯合在鄉軍人分會では明一日午前九時より平町磐城中學校に於て武術大會を開く筈である

懷中無一文で
大豪遊
湯本で捕はる

當時住所不定無職秋田縣仙北郡荒川村高橋長次郎(二七)は昨卅日午前九時頃湯本町字櫻町飲食店橘亭に登樓秋田市の豪商だと稱し水仕酌婦を總揚げ大豪遊を極めた揚句便所から拔け出して逃走せんとしたのを同町駐在巡査に逮捕された徐罪ある見込で本署に引致嚴重取調中である

在鄉軍人聯合
武術大會
明一日磐中で

石城郡聯合在鄉軍人分會では明一日午前九時より平町磐城中學校に於て武術大會を開く筈である

湯本觀音祭

今夜踊りで大賑ひ

石城郡湯本町における觀世音の例祭は平町その他から多數の踊子が入り込盆を送つて若い男女が書入れの一夜として夥しい賑ひを見せるが例となつてゐるが本年は恰も今卅一日夜が例祭に當つて丁度あつた、新盆の家の前にはヂャンガラ念佛の一隊が獨特の妙技を振るつて踊り廻り遊廊や檜下には夜を徹して踊の輪が出來てゐた、此の盆踊は磐城地方名物の一つで炭礦節の中に含まれた音律に一盆らしい氣分が濃厚に含まれてゐる十五、十六の兩日は若い男女に與へられた自由解放の日であつて

思ひ〳〵に化粧

した踊子の姿は夜明まで見

米價著しく上向
諸橋氏を第一等とし
郡下の地主調べ

米價上昇を得るのは地主階級はかりである、なほ石城郡内における大地主階級として小

念佛の最中
若者轢かる
雜沓の街上で

平町才槌小路菊地自動車店運轉手佐々木永吉(二〇)は二十九日午後十時胡摩澤を疾走中ヂャガラ念佛の鉦叩き高坂村草野重男ヶ跳ね飛ばし全治十日間の負傷をさせたので其筋に引致

平消防組へ

平町大工町の火災に際し平消防組

時言

折角の威令行はれず、指をくわいて見てゐる位いなら、自動車の制限運轉なんて、氣の利いた事は言はぬ方がヨロシ

腰拔けの平署に保安を望むは、狐の案内で峠を越すよりも危險だ、次の日に盆から自警團を組織する必要はないか

□

内郷では憶病もの同僚を戒し發す、退いて守るよりは進んで攻むるに如かず、の戰法を地で行つたものな相だ

□

貧乏を苦にして死んで行つた若い夫婦がある、可哀相でもあるが、そんな意氣地なしは死んだ方が第一米が減らない

津庄吳術、六百俵同小松章、六百俵川部村兒玉萬平六百俵歸村山野邊市

盜伐を取締る
平營林署管内一ケ年間の盜伐件數は平均百餘件で年々增加の傾向あるので今年は特に盜伐を防ぐため來る十一月

雨もものかはと
踊り拔いた盆二日
珍らしい雜沓を見た
平町の盆景氣

平町の舊盆狀景を見るに昨今の不景氣續き殊に米價暴騰の折柄とて例年に比し大分寂寥の感あつたが一番人出が多く賑つたのは十五、十六の兩日で、平消防組は磐城銀行前に本部を設け班をくんで町内の警備に當つた十五日正午から雷雨があつたが協議題は左の如し

△平町鎌田町岡田千藏氏が亡父治作氏の遺言に依る小學校基本金へ金百圓の寄附採納の件

△追加及更正豫算協議

△平町第三區々長市原源十氏の區長辭任

△第三區々長代理推薦の件

平町會
一日の協議題

平町では明一日午前十時から町會を開催するが當日の

植田青年會
總會

植田町青年會秋季總會は卅日午前十時より植出小學校に開き會務報告會長の挨拶ありそれより平商業學校長吉田利吉氏の株式會社と社會問題と題する講演あり午後二時より九月十六日の平町における石城郡青年競技會出場選手の豫選を行つた

念佛の最中
若者轢かる
雜沓の街上で

平町才槌小路菊地自動車店運轉手佐々木永吉(二〇)は二十九日午後十時胡摩澤を疾走中ヂャガラ念佛の鉦叩き高坂村草野重男ヶ跳ね飛ばし全治十日間の負傷をさせたので其筋に引致

平消防組へ

平町大工町の火災に際し平消防組

時言

折角の威令行はれず、指をくわいて見てゐる位いなら、自動車の制限運轉なんて、氣の利いた事は言はぬ方がヨロシ

腰拔けの平署に保安を望むは、狐の案内で峠を越すよりも危險だ、次の日に盆から自警團を組織する必要はないか

□

内郷では憶病もの同僚を戒し發す、退いて守るよりは進んで攻むるに如かず、の戰法を地で行つたものな相だ

□

貧乏を苦にして死んで行つた若い夫婦がある、可哀相でもあるが、そんな意氣地なしは死んだ方が第一米が減らない

石城
舊名偉人辭典(一)
小川江を開鑿した恩人
澤村勘兵衛

△澤村勘兵衛勝爲

勘兵衛勝爲は磐城平城主内藤義稠の臣なり、慶長十八年を以て生れ長じて磐前部疲食を忘れ奮勵工を督し拮据經營するもの三星霜にして全く竣る、名付けて小川堰と云ふ、夏井川の上流より再び獄に投ぜられ虐遇甚だしく自ら食を絶ちて獄中に死せり、實に寛保二年三月四日とす、死後讒者の家を立て藩主に請ふに自家の餘祿五百石の内三百石を返して資を爲し工を成さんと乞ふ所一千餘町歩遠隣百世に賜びて之れを賞す其の後谷長谷寺にあり

舊名偉人辭典(一)
小川江を開鑿した恩人
澤村勘兵衛

△澤村勘兵衛勝爲

勘兵衛勝爲は磐城平城主内藤義稠の臣なり、慶長十八年を以て生れ長じて磐前部疲食を忘れ奮勵工を督し拮据經營するもの三星霜にして全く竣る、名付けて小川堰と云ふ、夏井川の上流より再び獄に投ぜられ虐遇甚だしく自ら食を絶ちて獄中に死せり、實に寛保二年三月四日とす、死後讒者の家を立て藩主に請ふに自家の餘祿五百石の内三百石を返して資を爲し工を成さんと乞ふ所一千餘町歩遠隣百世に賜びて之れを賞す其の後谷長谷寺にあり

喜び直ちに工を勵す、實に承應六年二月なり、勘兵衛大いに奮ひ拔き宰となるや、鋭意事に從ひ治績あり、然るに答民耕田て工全く竣る、名付けて小灌漑の便を缺き農民動もすれば旱害に苦しむ、勘兵衛地形を熟視し渠を鑿つの志や窪、神谷、草野、大浦、太野、赤舛の諸村を灌漑し申す、藩主遂ひに死を賜ふつて京の三十三間堂に於て絶わ、内藤家嗣子なきこと七世八以て其の祭りとす、即ち祠を建て之れを祀り長谷寺にあり

喜び直ちに工を勵す、實に承應六年二月なり、勘兵衛大いに奮ひ拔き宰となるや、鋭意事に從ひ治績あり、然るに答民耕田て工全く竣る、名付けて小灌漑の便を缺き農民動もすれば旱害に苦しむ、勘兵衛地形を熟視し渠を鑿つの志や窪、神谷、草野、大浦、太野、赤舛の諸村を灌漑し申す、藩主遂ひに死を賜ふつて京の三十三間堂に於て絶わ、内藤家嗣子なきこと七世八以て其の祭りとす、即ち祠を建て之れを祀り長谷寺にあり

藤義稠の臣なり、慶長十八年を以て生れ長じて磐前部疲食を忘れ奮勵工を督し拮据經營するもの三星霜にして全く竣る、名付けて小灌漑の便を缺き農民動もすれば旱害に苦しむ、勘兵衛地形を熟視し渠を鑿つの志や窪、神谷、草野、大浦、太野、赤舛の諸村を灌漑し申す、藩主遂ひに死を賜ふつて京の三十三間堂に於て絶わ、内藤家嗣子なきこと七世八以て其の祭りとす、即ち祠を建て之れを祀り長谷寺にあり

藤義稠の臣なり、慶長十八年を以て生れ長じて磐前部疲食を忘れ奮勵工を督し拮据經營するもの三星霜にして全く竣る、名付けて小灌漑の便を缺き農民動もすれば旱害に苦しむ、勘兵衛地形を熟視し渠を鑿つの志や窪、神谷、草野、大浦、太野、赤舛の諸村を灌漑し申す、藩主遂ひに死を賜ふつて京の三十三間堂に於て絶わ、内藤家嗣子なきこと七世八以て其の祭りとす、即ち祠を建て之れを祀り長谷寺にあり

喜び直ちに工を勵す、實に承應六年二月なり、勘兵衛大いに奮ひ拔き宰となるや、鋭意事に從ひ治績あり、然るに答民耕田て工全く竣る、名付けて小灌漑の便を缺き農民動もすれば旱害に苦しむ、勘兵衛地形を熟視し渠を鑿つの志や窪、神谷、草野、大浦、太野、赤舛の諸村を灌漑し申す、藩主遂ひに死を賜ふつて京の三十三間堂に於て絶わ、内藤家嗣子なきこと七世八以て其の祭りとす、即ち祠を建て之れを祀り長谷寺にあり

藤義稠の臣なり、慶長十八年を以て生れ長じて磐前部疲食を忘れ奮勵工を督し拮据經營するもの三星霜にして全く竣る、名付けて小灌漑の便を缺き農民動もすれば旱害に苦しむ、勘兵衛地形を熟視し渠を鑿つの志や窪、神谷、草野、大浦、太野、赤舛の諸村を灌漑し申す、藩主遂ひに死を賜ふつて京の三十三間堂に於て絶わ、内藤家嗣子なきこと七世八以て其の祭りとす、即ち祠を建て之れを祀り長谷寺にあり

俳優に世話するとて
少年二人を誘惑
赤井村の温泉に滯留中
惡性の二少年が

久慈郡天下野村土工菊池源之介(二九)那珂郡國田村大字十三儀を掻つ浚て逃走せんとするを發見小里部長派出所に急報したので小坪、森の兩名はさる五月七日巢鴨刑務所を出獄し共に福島縣田、平野三巡査は時を移さず追跡して遂に三十日午前下を流浪中本月十五日石城郡赤井村赤井温泉で同村の一時の眞夜中同所をさる一里餘の賀美村大字小菅の奥

貧と病を苦にし
若い夫婦心中
ゆうべ内郷の鐵道で
無慘にも即死

内郷村大字高坂字臺町九十番地雜貨商關部甚松(三九)同前記の仕業に及んだものであると

大工町の
火事
人混み最中
火因に不審

平町大工町中川材木店中川

米價著しく上向
諸橋氏を第一等とし
郡下の地主調べ

米價上昇を得るのは地主階級はかりである、なほ石城郡内における大地主階級として小